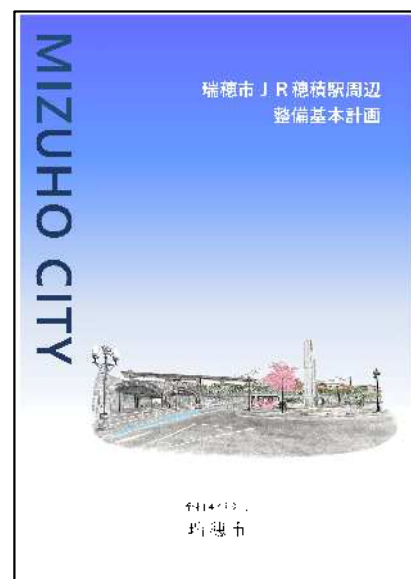


1. まちづくりの方向性

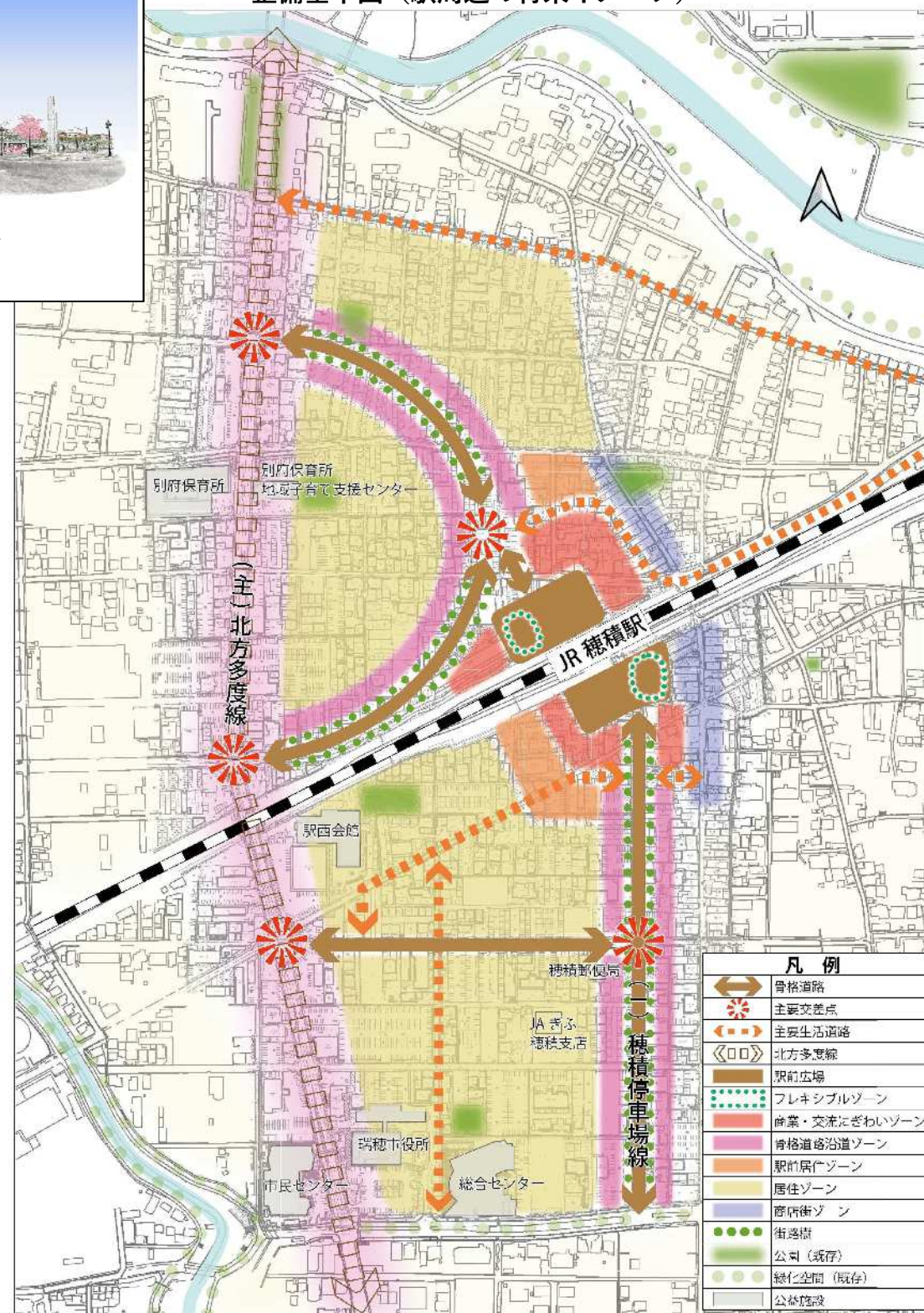
瑞穂市 J R穂積駅周辺整備基本計画
(令和 4 年 9 月策定)



まちづくり目標

駅周辺に人が集まり交流できる環境整備と
生活利便性向上による居住促進

整備基本図（駅周辺の将来イメージ）



2. 整備の展開

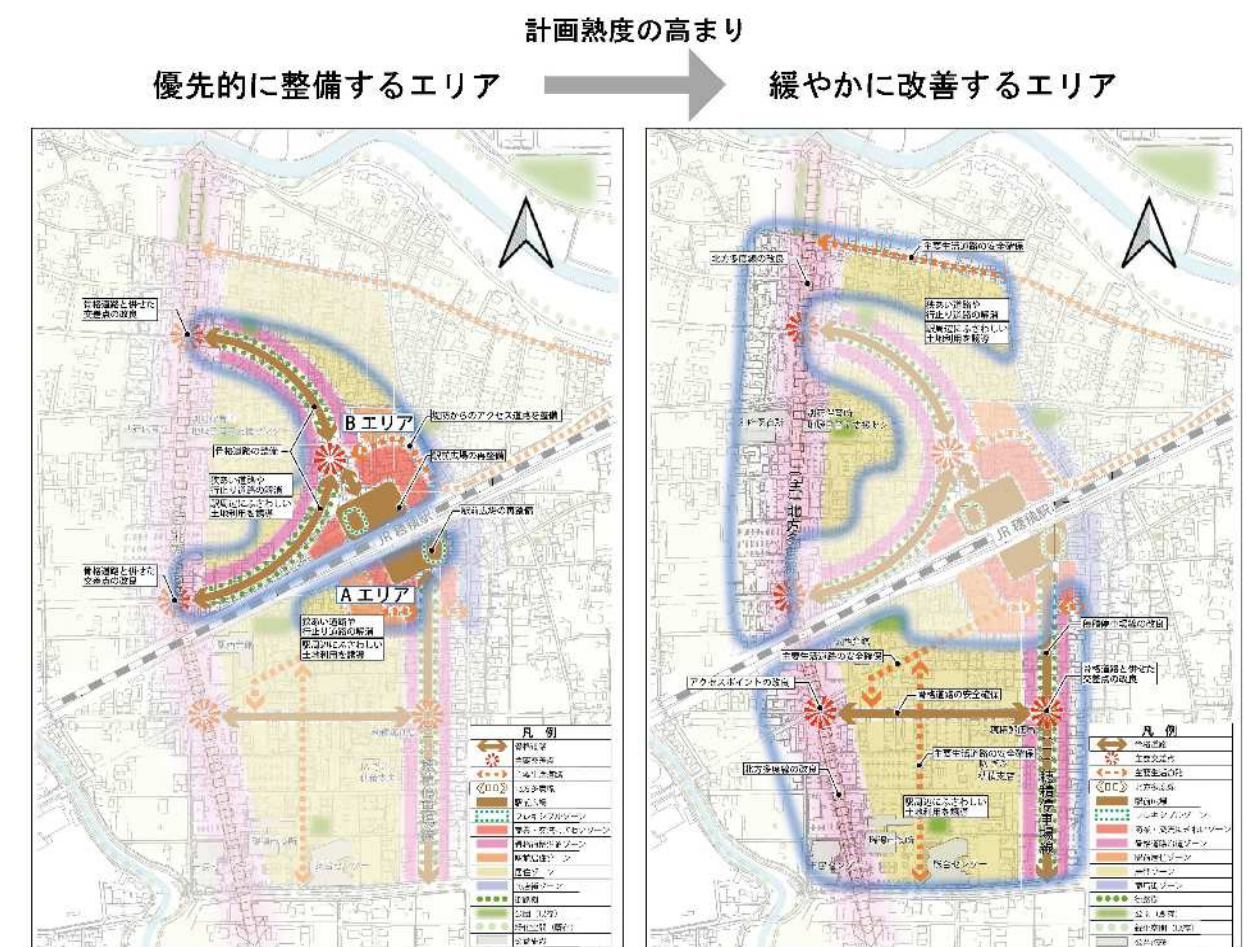
駅周辺の整備については、次のように進めていきます。

①一体的に整備することが効果的な範囲としてAエリア、Bエリアにおけるまちづくりの事業化検討を進めます。特に、駅南側のAエリアは、公共施設の立地状況や駅前広場への公共交通の乗入れ状況から、駅周辺整備による利便性の向上と魅力の創出への即効性が高いため、早期に事業が促進できるような事業展開を図ります。

②Aエリア、Bエリアに含まれないエリアは、緩やかに改善するエリアとし、計画の熟度が高まった段階で、それぞれのエリアに即した整備を進めます。

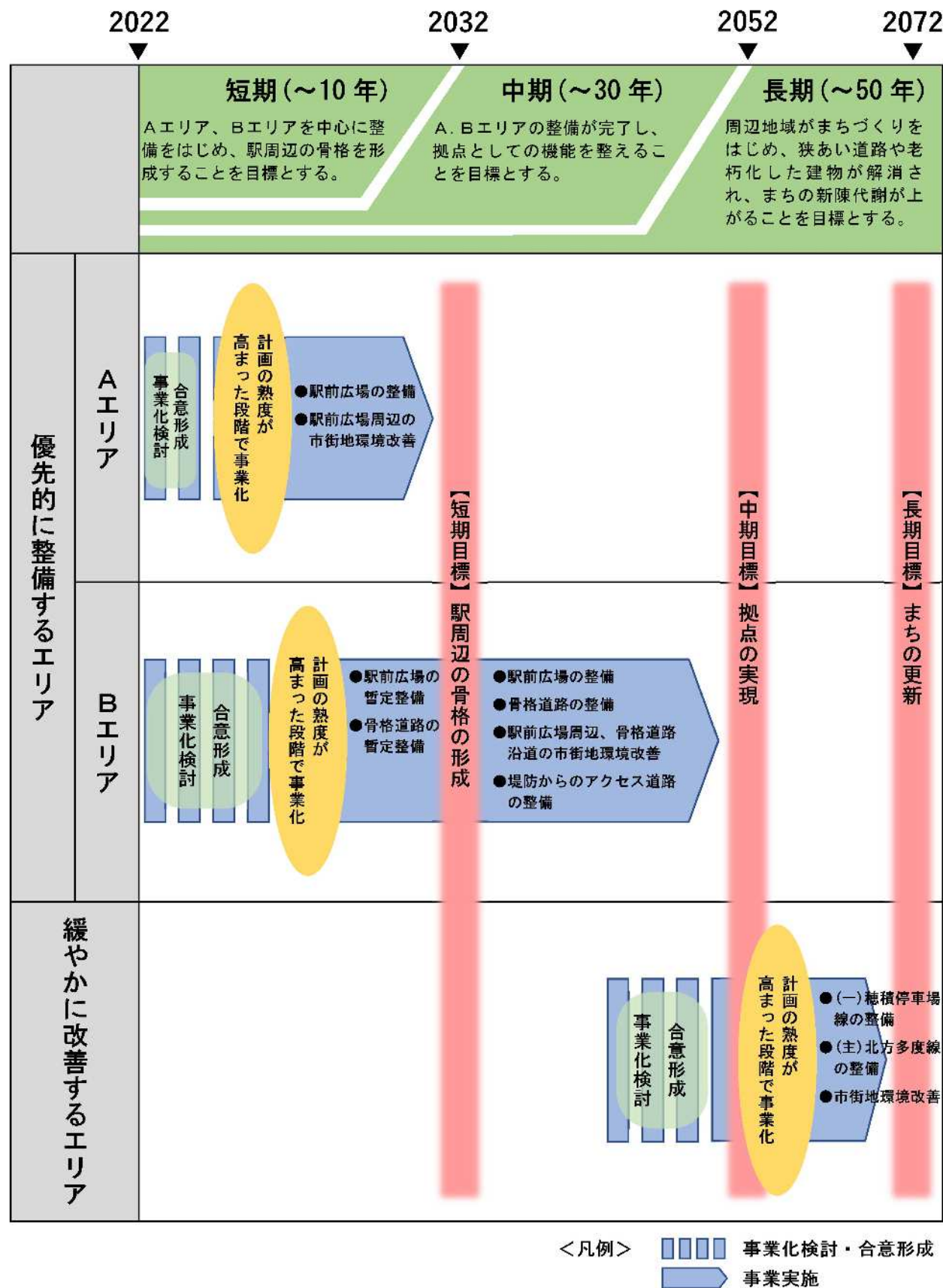
なお、定期的なPDCAの実施により、社会情勢等による見直しを行いながら、事業を行っていきます。

整備展開イメージ



※上記エリアを問わず、局所的な修繕や将来的な整備効果を見据えた既存施設の改善については、必要に応じて実施していきます。（機能等改善事業）

3. ロードマップ



※上記エリアを問わず、局所的な修繕や将来的な整備効果を見据えた既存施設の改善については、必要に応じて実施していきます。(機能等改善事業)

4. 整備の目標

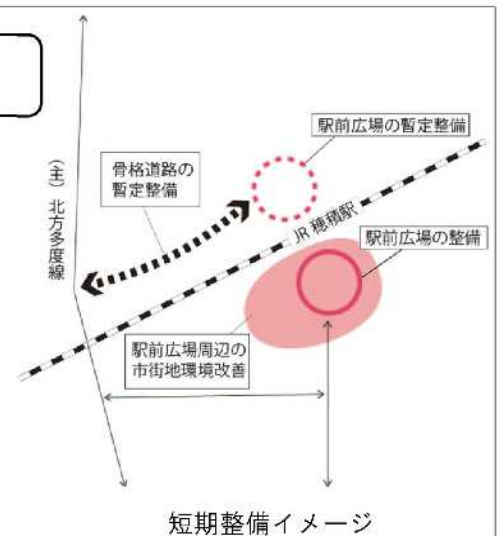
整備を進めるにあたり、短期、中期、長期ごとに整備目標を設定し、第3章で整理した整備展開を基に段階的に整備を進めます。

<短期> 10年後

短期目標 駅周辺の骨格の形成

駅周辺における集散性を向上させ、駅に人が集まりやすい環境を創出するため、短期では駅周辺の骨格を形成します。

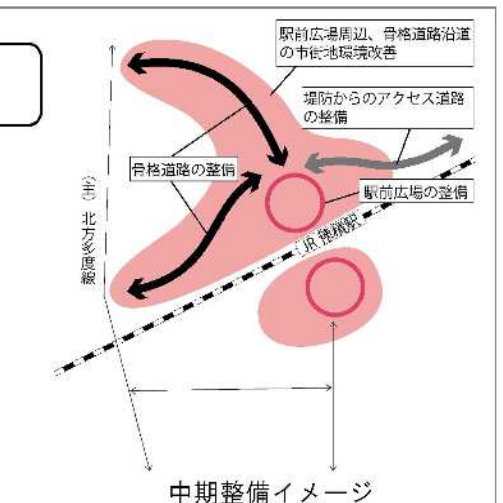
また、Bエリアは、事業期間が長くなることが想定されるため駅前広場と駅へ向かう骨格道路を暫定的に整備することにより、骨格の形成を図ります。



<中期> 30年後

中期目標 拠点の実現

駅を中心としたにぎわいの場や都市機能が立地した拠点としての機能を整えます。



<長期> 50年後

長期目標 まちの更新

周辺地域のまちづくりをはじめ、狭あい道路や老朽化した建物が解消され、まちの新陳代謝を進めることによりまちが更新され、拠点化構想の実現を迎えます。

